

第1回定期演奏会を終えて

船橋シニアアンサンブル 副代表 高萩良郎

去る10月20日(土)、私たち船橋シニアアンサンブルは、船橋市民文化ホールでの第1回定期演奏会を大盛況のうちに終演することができました。

思えば、前年4月に予定されていた演奏会が震災のため、この日まで延期となりましたが、結果的には十分練習を積み重ねることができ、かえって良かったのかなと思っています。

定期演奏会の開催に向けた実行委員会は、役員、指揮者及びコンサートマスターが委員となり約半年前に立ち上がりました。委員会では、まず、演奏予定曲目、曲順が決定され、演奏会プログラム全体の構想・流れが検討されました。同時に、今回はゲスト出演者を招くことが決まりました。また、演奏会開催にあたっては、すべての団員がかかわるように役割分担表を作成し、団員各位への協力をお願いしました。演奏会を成功させるために事前に行うべき事項は数多くありましたが、特筆すべき事項として、団員によるポスター掲示・チラシ配布とテレビ局録画取材の件を簡単に紹介させていただきます。

まず、チラシ印刷は10,000部を予定しましたが、団員の配布努力により増刷を含め最終的には11,000部ほどになりました。教育委員会を経由しての市内公民館などへの配布、楽器店ダイレクトメールを利用させていただいての配布、千葉シニア第2回定期演奏会プログラムへの折込などのほか、担当を決めて最寄の団地、公団などへの戸別配布も行いました。

ポスターについても市の公共掲示板への掲示をはじめ、団員の協力を得てイトーヨーカ堂など人が大勢集まる商業施設への掲示も行いました。このような地道な活動が観客動員数にいかに関与したかは、演奏会のアンケート結果でうかがい知ることができました。

後援依頼の交渉の過程で、JCN船橋習志野担当者から、思いもよらぬ録画取材の相談が飛び込んできました。地域で活躍する団体のイベントをイベントズームアップという1時間番組の中でそのまま放送したいとのことでした。私たちにとっても今後とも地域に根ざした活動を展開する上で願ってもないことと考え、快く録画取材を受け入れました。演奏会の模様は11月16日から半月間8回にわたり船橋ケーブルテレビで放送されました。

さて、演奏会当日の話になりますが、幸い天候にも恵まれ、入場観客動員数はプログラムの残数から満席を超え1,020名と記録されました。アンケートによれば、多くの方々から演奏内容、選曲、演出、指揮者などへの賞賛をいただきました。

今後は、少しずつレパートリーを広げ、地域密着の出前演奏を続けながら、来たるべき第2回定期演奏会に向けて、「楽しく、仲良く、いきいきと」練習に励みたいと考えております。

最後に、本演奏会の運営にご協力を賜りましたすべての皆様に、改めて御礼申し上げます。

ありがとうございました。

